

2018年9月27日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

「北洋 SDGs 推進ファンド」の出資先を決定しました

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、2018年9月27日付で株式会社エフエムとよひら様（本社：札幌市 代表：中目 明德^{なかのめ あきのり}）と株式会社スマートルアー様（本社：札幌市 代表：岡村 雄樹^{おかむら ゆうき}）の2社を「北洋SDGs推進ファンド（北洋 SDGs 推進投資事業有限責任組合）」にて出資先として決定しました。

株式会社エフエムとよひら様は、豊平区平岸エリアを中心とした地域密着型の FM 放送局を運営する事業者です。地域の経済・社会・生活・教育・環境に重点を置きSDGsを推進。災害時の情報発信拠点としての役割や地域に密着した番組運営によるコミュニティ形成、また、放送事業以外でも「子ども食堂」の運営にて地域の子どもの健全育成を支援するなど SDGs を実践しています。

SDGs をテーマに地域密着のコミュニティ放送局を運営する当社の取り組みは、地域の持続可能な発展に寄与する意義の高い事業であるという点を評価し、出資を決定しました。

株式会社スマートルアー様は、センサー内臓ルアー（疑似餌）を使った水中センシングなど IoT を駆使し、釣り人向けの情報サービスを提供するベンチャー企業です。ルアーにセンサーを内臓させ、水中環境の情報可視化と釣果データを組み合わせて分析することで、釣り人が「いつ、どこで、どのようにして釣るか」を提供するサービスを実現します。他社にはない革新的なサービスで、国内のみならずグローバルな展開も期待されます。北海道からグローバル志向のベンチャー企業が成長することは、北海道の雇用増加や経済活性化に資する点を評価し、出資を決定しました。

なお、今回の出資決定にあたっては、日本政策金融公庫と連携して対応を進め、日本政策金融公庫が資本金性ローンで融資を行い、官民協調で当社の資金面を支援します。

「北洋 SDGs 推進ファンド」は、SDGs（＝持続可能な開発目標）のコンセプトに合致する道内中小企業を投資対象とし、資金の提供を通じて地域企業が抱える課題を解決し、地域経済の活性化と北海道の持続可能な発展に貢献することを目的としています。

以上

1.会社概要

株式会社エフエムとよひら様 会社概要

- 本社所在地 札幌市豊平区平岸2条5丁目2番14号
- 代表者 代表取締役 中目 明德
- 設立年月日 1996年11月19日
- 事業内容 コミュニティFM放送局の運営

株式会社スマートルアー様 会社概要

- 本社所在地 札幌市中央区宮ヶ丘3丁目3番1号
- 代表者 代表取締役 岡村 雄樹
- 設立年月日 2017年3月30日
- 事業内容 釣り人向けデバイスの開発設計
IoTを活用した釣り人向け情報流通市場の創設

2.ファンド概要

名称	北洋 SDGs 推進ファンド (北洋 SDGs 推進投資事業有限責任組合)
ファンド総額	5億円
組合員構成	株式会社北洋銀行 株式会社北海道二十一世紀総合研究所
設立日	2018年6月20日(水)
存続期間	設立日より10年間
業務運営者	株式会社北海道二十一世紀総合研究所

3.スキーム図

